

第25回 SEA教育事例研究会2023

ーDX と AI 時代の教育デザインと実践事例ー

主催: ソフトウェア技術者協会(SEA)教育分科会(sigedu)

1. 開催概要

教育分科会では、毎年初夏の時期に教育の実践報告や最新教育連の情報交換などを中心とした研究会を開催しています。

今年も、人材育成やパフォーマンス向上について新しい取り組みを実践されている方、教育工学に基づき教育の最新技術を研究されている方、ユニークな教育展開をされている方、また担当の教育に問題を抱えて悩んでおられる方が集まり、さまざまな実践事例や改善方策について集中討論会を行いました。

昨年同様今回もハイブリッド開催とし、会場参加とオンライン参加を募りました。

1. 日程

2023年7月8日(土)13:00ー 18:00

2. 会場

京都光華女子大学 富小路まちやキャンパス(京都)およびオンライン

<https://www.koka.ac.jp/community/machiya.html>

3. 参加者一覧

【会場参加者】

鈴木克明	武蔵野大学響学開発センター
小笠原秀人	千葉工業大学社会システム科学部プロジェクトマネジメント学科
岡本華枝	京都光華女子大学健康科学部看護学科成人看護学
徳永基与子	京都光華女子大学基礎看護学
篠田紀一郎	京都光華女子大学健康科学部看護学科
米島博司	パフォーマンス・インプルーブメント・アソシエイツ
牧野憲一	プラスワン・アシスト

【オンライン参加者】

君島浩	教育設計研究所
飯箸泰宏	協創型情報空間研究所
新森昭宏	富山国際大学現代社会学部

4. プログラム

13:00 オープニング開会宣言 実行委員長 米島博司

13:05 自己紹介 参加者全員

13:20 コロナ感染症 2019 事例に基づく感染経路分析の模擬教材 君島浩 【Online】

14:00 教室の生成 AI 飯箸泰宏 【Online】

14:40 メタ認知能力の育成と授業デザインへの組み込み 岡本華枝

15:20 ChatGPT を利用した Web アプリケーションの開発 小笠原秀人

16:00 (休憩)

16:10 事例による理解促進 ～新入社員教育編～ 牧野憲一

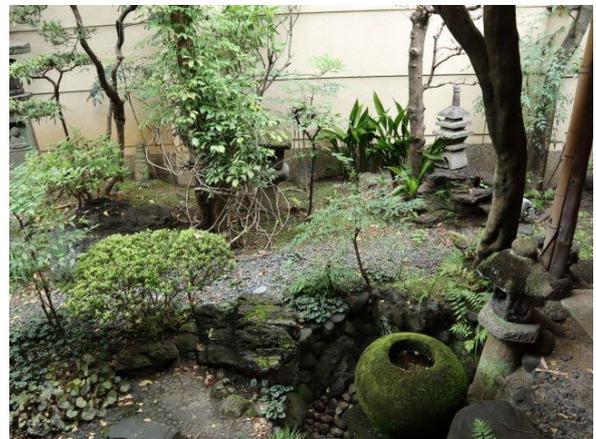
16:50 学習者、授業デザイナーの生成 AI の活用可能性の考察 米島博司

17:20 「響学スパイラル」を体験させる大学1年生向け教養科目の設計と実施 鈴木克明

18:00 解散

5. 研究会風景写真

京都光華大学 富小路まちやキャンパス 外観とお庭



発表者



Online 君島さん、飯箸さん、(新森先生)



岡本先生



米島さん

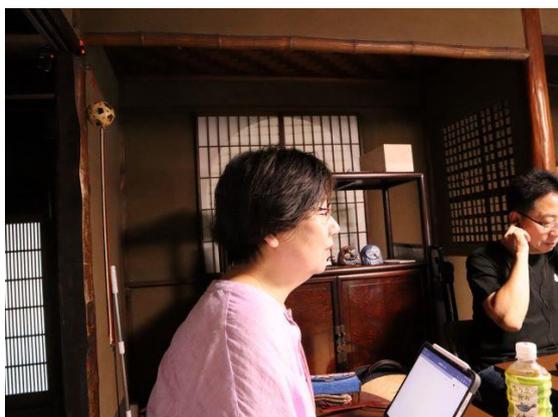


小笠原先生



鈴木先生

聴講参加



徳永先生



篠田先生

研究会光景



懇親会



6. 実行委員コメント

【実行委員長 米島博司】

ソフトウェア技術者協会では、10 数年前まで毎年のように教育分科会と関西支部とのジョイントフォーラムを開催していました。久しぶりに関西方面での企画をということで、教育分科会主催の毎年恒例の教育事例研究会を今年は京都で開催することにしました。実行委員の一人岡本先生がこの4月から京都光華女子大学に赴任されたということもあり、同大学の富小路まちやキャンパスという、雰囲気のある京都古来のまちやの建物の中での研究会となりました。

議論は様々ありましたが、昨今話題の生成 AI の活用に関するテーマもあり、今後の京都光華女子大学における ID/ISD を活用した FD 活動や教育改善の糸口になれば幸いです。

教育工学はほとんど教員のマインドに依存するところが多く、旧来慣習を変えつつ授業改善を行うのはなかなか困難であることは私も経験上体験しているところではありますが、継続的に根気よく進めていっていただき、私たちもその支援の一助となることができれば良いと感じております。

現地でお世話になりました同大学の先生方のご協力にお礼を申し上げます。

【実行委員 岡本華枝】

京都市内にある京都光華女子大学の「富小路まちやキャンパス」は、京都の伝統的な住まいである町家で、社会貢献・地域連携の一環として教育活動を実施していくために3年前に開設されました。今回、SEA 教育事例研究会の会場として利用できたことは、たいへん光栄で嬉しく思います。当日は Wi-Fi 設備の不具合がありましたが臨機応変にご対応いただきありがとうございました。次回がありましたら、Wi-Fi 環境を整えて利用できればと思います。

ソフトウェア・情報処理技術者の方々とは異なる、看護教育の立場ですが、「教育・育成」という共通テーマから、数年前ご縁がありつなかりました。今回は実行委員という役割をいただき、会場の準備とフライヤーを担当しました。7月初旬の開催ということで、新緑をイメージして東寺を背景にした黄緑色のフライヤーを作成しました。

テーマ「DX と AI 時代の教育デザインと実践事例」での7演題の発表は、13時から18時の5時間という長丁場でしたが、京都の銘菓をいただきながら、最新の話題と皆様とのディスカッションは有意義な時間でした。実行委員長の米島さん、実行委員の牧野さん、関係者の皆様、ご参加の皆様、ありがとうございました。

【実行委員 牧野憲一】

事例研究会は例年だと東京で開催されるので、京都在住の私としてはなかなか縁遠いイベントだったのですが、今年は京都開催となり、有り難く参加させていただくことができました。京都光華大学様および岡本先生に厚く御礼申し上げます。

会場となった「富小路まちやキャンパス」は市内中心部にありながら、完全な町屋建築であり、外部だけでなく内部装飾も完全な町屋です。畳の部屋に木製のテーブルを出して木製の椅子に座っての運営は今までになく、とても新鮮です。写真も添えておきますが、お庭も素敵でした。

飯箸さんや小笠原先生の発表を聴いて、AI や ChatGPT の進展状況や近い将来のさらなる可能性を考えさせられる良き機会となりました。上流設計は苦手そうですが、いずれ任せられる時代が来るのでしょうか。組み込みソフトウェアにおける排他制御が実現できると、ソフトウェア開発におけるエンジニアに期待する能力が大きく変化すること間違いなしです。パラダイムシフトですね。

私の発表では真っ黒な事例を通じて指導項目の該当を確認するものでしたが、グレーな事例で議論させると面白いとのアイデアをいただきました。次年度はグレーな事例を探し、教材化を図り、議論に導きたいと思いません。

素敵な会場とバラエティに富んだ発表、とても有意義な研究会を有難うございます。会場を提供していただいた京都光華大学の皆様にあらためてお礼申し上げます。有難うございました。

以上